

1. 腰椎椎間板ヘルニアは、椎間板から (①) が脱出し、(②)、(③)、
を圧迫する疾患である。(④) ~ (⑤) 代の男性に多発する。
2. 腰部脊柱管狭窄症は、腰椎の (⑥) による変性によって、(⑦) や (⑧)
) が圧迫されて、症状を引き起こす。特に歩行状態に特徴があり、(⑨) が出現する。
3. 馬尾障害とは、馬尾を圧迫することによる障害で、代表的な症状として (⑩) 障害がある。

ここからは、脊髄損傷に関連する問題

4. 中枢神経は、(⑪) と (⑫) で、(⑬) は末梢神経である。
4. 脊髄損傷は、脊柱管にある脊髄が損傷することにより、(⑭) 障害、(⑮) 障害、(⑯)
) などの障害を引き起こす。(⑰) 髄が最も多い。完全脊髄損傷では、損傷高位より
(⑱) の脊髄が支配する全領域で症状が現れる。
5. 呼吸器障害は、(⑲) 神経の (⑳) 番 ~ (㉑) に由来する神経障害によって
起こる。人工呼吸器が必要な時もある。 各 1.5 点
6. 脊髄損傷による、神経原性ショック (循環障害について) 説明しなさい。(4 点)

T1-T4
B12 感↑

① 椎体	② 脊髄	③ 神経根	④ 脊
⑤ 60	⑥ 椎管	⑦ 脊髄	⑧ 馬尾神経
⑨ 間欠性跛行	⑩ 膀胱直腸	⑪ 月経	⑫ 脊髄
⑬ 脊髄	⑭ 呼吸	⑮ 循環	⑯ 排尿
⑰ 頸	⑱ 下位	⑲ 横隔	⑳ 心臓
㉑ 心臓			

6.

心臓は自律神経により調整される。脊髄損傷により、T1-T4 に由来する
神経障害を引き起こすと、副交感神経が優位になり
神経原性ショックを引き起こす。

3/